

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 佐野 洋 副委員長 近藤公久・竹内和広

幹事 森下美和・坪田 康 幹事補佐 神長伸幸・高田明典・石川彰夫

◎本研究会は参加費が必要になります。

ESS の技報電子化研究会に関する御案内ページ

<https://www.ieice.org/ess/ESS/gihou-trial-ess2018.html>

日時 3月18日(月) 10:15~19:10

会場 早稲田大学 8号館 3階 303/304/305 会議室 (新宿区西早稲田 1-6-1. <https://www.waseda.jp/top/access> 原田康也)

議題 テーマ(1): 言語と学習・言語の学習 テーマ(2): 意味の創発・場の共創・創発とイノベーション テーマ(3): 通訳・翻訳・言語相対性仮説とホスピタリティーコミュニケーション

1. 日本人英語学習者の未知語学習における語彙競合効果 ○日裏真世・横川博一(神戸大)
2. 接触頻度が日本人英語学習者の口頭文産出における統語処理に与える影響—心理言語学的実験による分析—
○兵頭佳央理・横川博一(神戸大)
3. 中国語宅配学習アプリの開発と試用—LINE BOT 友達機能を利用したクイズアプリ「小遊」—
○湯山トミ子・篠塚麻衣子(首都大東京)・山本幸太郎(創隆社)

ポスターセッション

4. 関連性理論における真理条件について 徐 子程
5. 自律的相互学習の記録と分析からインタラクションの楽しさへ—外国語としての英語自動処理の難しさを超えて—
○原田康也(早大)・森下美和(神戸学院大)・横森大輔(九大)・鍋井理沙(東海大)・遠藤智子(成蹊大)・前坊香菜子(早大)・河村まゆみ(言語アノテータ)・榎原奈な子(早大)
6. 学びの表現活動を通じた数学的リテラシーの育成—中学校における STEAM 教育実践を中心に—
○本田一真・矢野兼司・杉本喜孝(南陽中学校)・坪田 康(京都工繊大)
7. ウェアラブルデバイスを用いたリアルタイム行動認識に関する研究—手指動作センシングによるジェスチャ認識—
○中田 慶・伊藤 篤・羽多野裕之(宇都宮大)
8. 事象関連電位を用いた言語産出研究のための発話アーチファクト除去システムの開発—第二言語での単語産出の事例を用いて—
○星野徳子(津田塾大)・丹治はるか(電通大)
9. 講演の同時通訳における文の訳出難易度の推定 ○蔡 仲熙(名大)・笠 浩一朗(三重短大)・松原茂樹(名大)
10. いかに論理的に話す・書くことの重要性に気づかせるか—大学院予備教育としての実践を通して—
王 棟(東京外国語大)
11. 栃木県宇都宮市における LoRa の利用可能性に関する検討
○バヤルサイハン ムンフオド・伊藤 篤・佐々木 陽(宇都宮大)

午後 第1セッション

12. [招待講演] AI Nihongo Sensei 今井新悟(早大)

第2セッション

13. 対話入力文に基づく事実と論理の学習を実現する階層構造意味空間モデルの提案 高田明典(フェリス女学院大)
14. 高度な意味処理向けの日本語シソーラス—連想型多次元シソーラス—
宮崎正弘(ラングテック/言語研究アソシエーション)
15. 高度翻訳知識構築のための言語データベース—高度翻訳知識の導出の試み— 佐良木 昌(明大)
16. 英語における因果表現の諸相—because, since, as を中心に— ○佐良木 昌(明大)・宮澤織枝(ケント大)

第3セッション

17. 生活習慣病未病者を対象とする健康管理モバイルアプリの実装と評価—行動変容を促す心理効果を考慮した UI の有効性評価— ○張 昭誼・伊藤 篤(宇都宮大)
18. 生体信号を用いた運転者の感情推定技術の検討 ○庄司有佑・中田 慶・羽多野裕之・伊藤 篤(宇都宮大)
19. 日光における言語景観—伝統と流行—
○平松裕子(中大)・森下美和(神戸学院大)・原田康也(早大)・佐良木 昌(明大)
20. 神戸の言語景観の特異性 ○森下美和(神戸学院大)・平松裕子(中大)・原田康也(早大)

第4セッション

21. 市民意見収集のためのツイート表現の分析 ○柏野和佳子・平本智弥(国立国語研)・関 洋平(筑波大)
22. 主張度の高い場面において女ことばが果たす役割 鎌田彩花(早大)
23. Contextual and Individual Variations in the Apologetic Expressions in Japanese
○Takayuki Konishi・Ai Kanato・Yasunari Harada・Sachiko Shudo(Waseda Univ.)